

相馬市から学び、持ち帰る、私の防災〇〇

～多様な現地体験から新聞、手紙、〇〇、あなたなりの防災対策をまとめよう～

相馬市 相馬市観光協会

SDGs17の目標
該当No.

4

11

13

【プログラムの内容】

- ▶災害を知る：東日本大震災と4度の大規模災害の被災状況を学ぶ。
- ▶災害を考える：災害をイメージし、どう行動したらいいのか考える。
- ▶災害に備える：災害時にすぐ行動できるように、学んだことをまとめる。

【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」】

- ▶ゴール4（ターゲット4.7）自ら情報収集し、価値判断力を磨き、要点をまとめる力を身につける。
- ▶ゴール11（ターゲット11.5）災害を想定し、どんな備えが必要か、命を守るヒントを学ぶ。
- ▶ゴール13（ターゲット13.1）気象災害を自分事としてとらえ、日頃から気象に関心をもってもらう。



実践・津波避難



防災備蓄倉庫で備えを学ぶ



防災グループセッション



防災ワークショップ

事前学習

- ▶東日本大震災の概要を知る。
- ▶自分の地域のハザードマップや災害履歴を調べる。
- ▶最近の気象災害を調べる。

【施設で対応できること】

- ▶まとめ方のヒントを提示する。

現地学習

- ▶被災状況を知る。
語り部の話を聞き、被災者の思いに触れる。
- ▶避難行動を学ぶ。実践・津波避難
- ▶在宅避難のための備えを学ぶ。
- ▶グループセッション（災害時の行動をグループ別で話し合い、相馬市で起きた事象と比較してみる）
- ▶ワークショップ（ランタン作り、171体験）
- ▶防災の考え方を学ぶ。

事後学習

- ▶相馬市で学んだことをまとめる。
- ・もしも新聞（災害が起きたらどこに避難するか、いつ避難するか、家族との連絡方法をまとめる）
- ・手紙（被災した未来の私から、過去の私への手紙）
- ・地域の特性を知り、地域の防災対策を作ろう。
（過去の災害履歴、ハザードマップを読み解いて）
- ・在宅避難のすすめ（家の中の安全チェック、何を備蓄する？）
- ・タイムラインをつくる。（気象災害への備え）

▶問い合わせ

企業/施設名称：相馬市観光協会
 担当名：渋谷 紀子
 TEL：0244-35-3300
 営業時間：8時30分～17時15分
 休館日：年末年始



受入人数	10人 ～ 40人
受入可能時期（休業日）	不定休（年末年始除く）
受入可能時間	9時 ～ 17時
体験時間	2時間30分 ～ 3時間

対象	小学生、中学生、高校生
1人/1回 当たり料金	1,000円 オプション：語り部3,000円/1団体（～30人） （30人超える場合は+100円/1人）
備考 （雨天対応等）	雨天時対応可